

2023年のスギ・ヒノキ花粉飛散のまとめ

[報告：副会長 沖中 芳彦]

前年秋の定点観測木のスギ雄花の着花状態から、2023年のスギ花粉飛散総数を、県内測定機関の平均値として、平年値 3,050 個/cm² に対し 4,000 個/cm² 程度で、飛散数はかなり多くなると予測しましたが、実測値は予測を上回る 6,430 個/cm² (平年比 2.1 倍) と、2019 年の 6,290 個/cm² を超える過去最多の飛散数となりました (図 1)。飛散開始日は 2 月 7 日、最多飛散日は全体の平均では 2 月 28 日でした。シーズン飛散総数が最多であったのは美祢地区の測定機関の 11,482 個/cm²、最少は防府地区の 3,509/cm² でした (図 2)。

一方、ヒノキも 4,696 個/cm² (平年値 1,680 個/cm² の 2.8 倍) で、2018 年の 4,148 個/cm² を超える過去最多の飛散総数となりました (図 1)。飛散開始日は 2 月 25 日、最多飛散日は 3 月 20 日で、同日、長門地区の測定機関では 5,147 個/cm² と、1 日の花粉数としてはこれまでで最多の捕集数を記録しました。最多飛散地区も長門で 16,319 個/cm²、最少は山陽小野田地区の 1,544 個/cm² でした (図 3)。

結果的に、今シーズンの花粉飛散総数は、スギ、ヒノキともに過去最多となりました。スギ、ヒノキともに北部地区での飛散が顕著で、特にヒノキは、多くの測定点で平年の 2 倍前後の飛散数であったのに対し、北部地区では軒並み平年の 3 倍を超える飛散数となり、全体の平均値を押し上げました。今シーズンの花粉数の多さにより、来シーズンを迎えるにあたってのスギ花粉総数の平年値は 3,260 個/cm² となります (図 4)。

1 日の花粉数が 3,000 個を超えると、同日の花粉数のカウントに 1 時間以上を要すると思います。花粉測定機関の皆様にはご多忙の中、日々の花粉数測定にご尽力いただき、衷心より感謝申し上げます。多数飛散地区の方々には特に大変と思いますが、引き続きご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

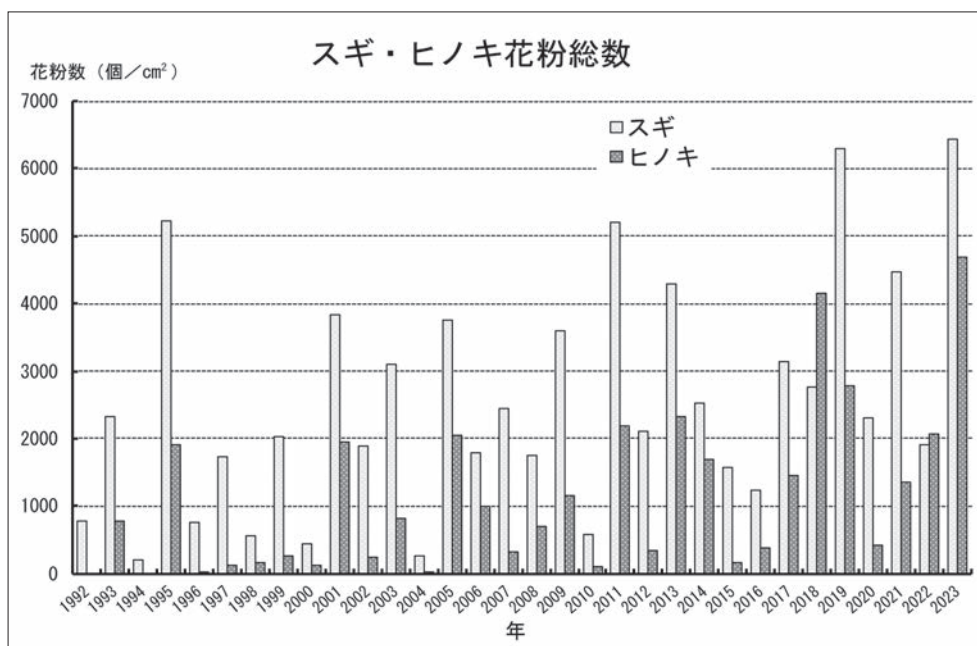


図 1 年別スギ・ヒノキ総数

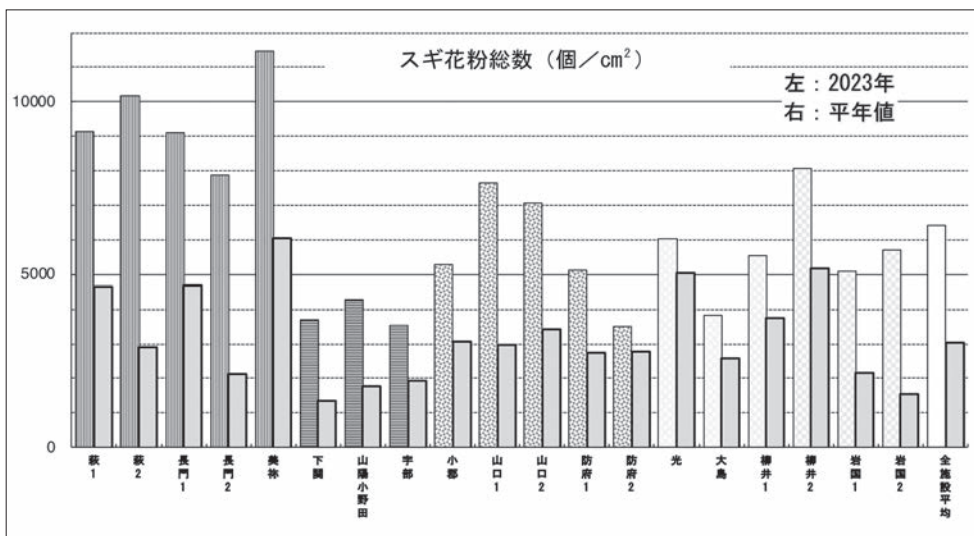


図2 2023年の測定機関別スギ花粉総数（平年値との比較）

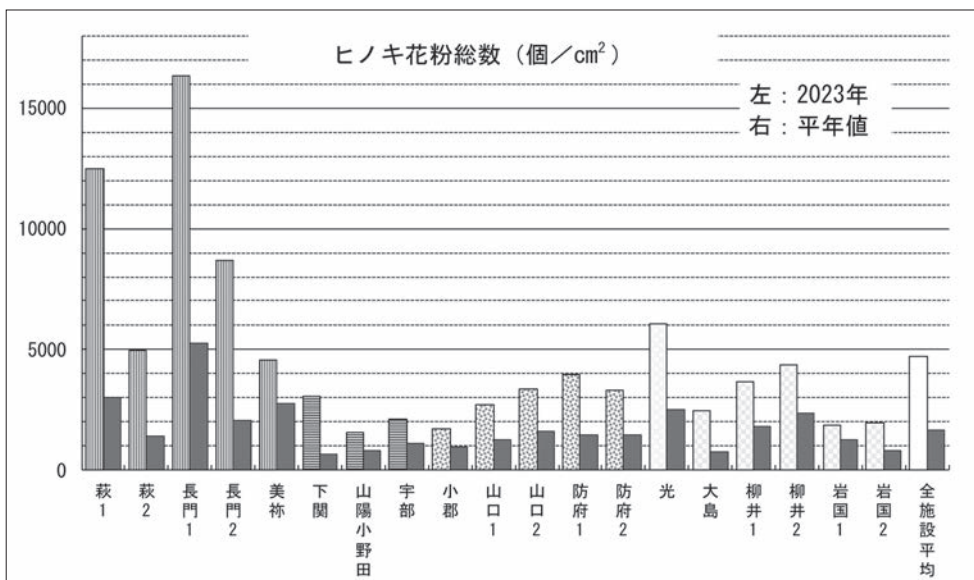


図3 2023年の測定機関別ヒノキ花粉総数（平年値との比較）

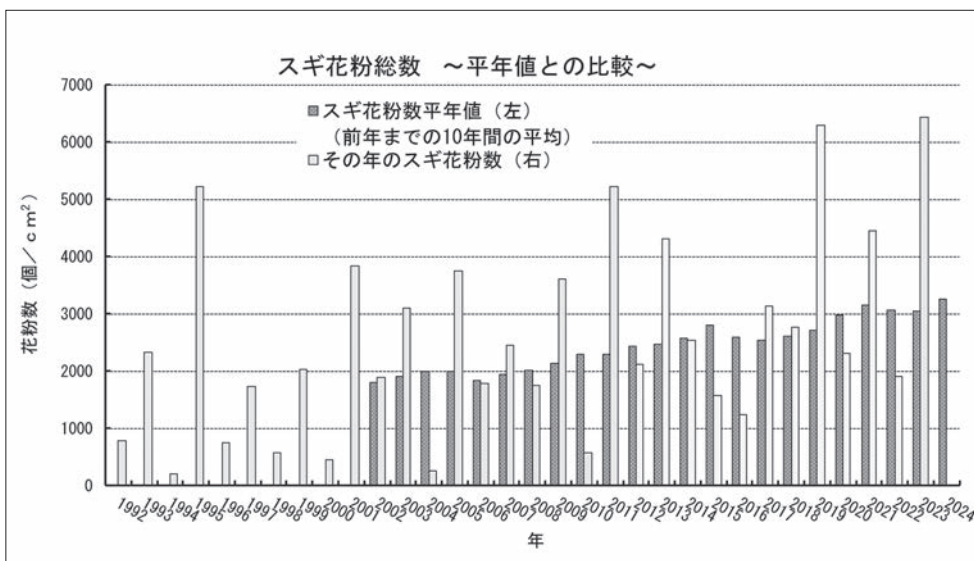


図4 スギ花粉総数と各シーズン前の平年値